



# グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部  
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4  
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。 秋は爽やかな好天に恵まれやすく、シルバーウィークなどの連休もあって、何かとイベントが多い時期ですね。 結婚式も増える季節ですが、特に11月は22日の「いい夫婦の日」、23日の「いい夫妻の日」といった縁起の良い語呂合わせの日もあることで、特に人気が高いのだそうです。 さて、その結婚式には、神前式・仏前式・教会式・人前式などいろいろなスタイルがありますが、一番の人気はダントツで教会式なのだそうです。 2015年以降の結婚式の傾向を結婚情報サイトで見てみると、教会式の次に人前式、神前式と続きます。 人前式は場所や衣装に決まりはありませんが、会場に選ばれるのは結婚式場のチャペルで、ウェディングドレスとタキシード着用での式がほとんどです。 今では、挙式するカップルの4分の3が、教会式・人前式を選んでいるそうですよ。 その主な理由としては、たくさんの人に参列してもらえること、希望する結婚式場の中に施設があったこと、衣装に憧れていたこと、などが紹介されています。 加えて、荘厳な教会での挙式に憧れていたり、明るい開放的な空間で挙式することに重きを置いたりする方も多いのかもしれませんが。 また、近年増えている人前式は、実は日本で最も歴史のある挙式スタイルなのだそうです。 言われてみれば、大河ドラマの結婚式の場面には、神様も仏様も出てきませんね。 日本で結婚式に神様や仏様が出てきたのは、明治33年の大正天皇のご婚礼の時からだといわれています。 大正天皇ご夫妻は宮中の賢所で婚儀を行ったのですが、これが神前式の始まりだそうです。 それまでは、自宅から会場まで行列を組み、その道中ではお菓子やお酒を行き会う人たちに振る舞い、会場に着いたら関係者へ新郎新婦の紹介があって、披露宴を開くという形式でした。 この行列でどれだけ大盤振る舞いをするかも重視されていましたから、まさに人生の一大イベント！ 準備をする側、行列をする側はヘトヘトになったでしょうね。 でも、こうして手間ひまかけて、めいっばいお祝いをするすることで、新しい生活に向かうための気力が養われたのかもしれませんが。 今は入籍だけのご夫婦も増えましたが、新生活を始めるカップルからお知らせが届いたら、心からお祝いしたいですね。 　ふれディア通信編集部



## .....幸福の前ぶれ? 不幸の予兆? .....

### ラッキージンクス & アンラッキージンクス



今日のジンクス

「プレゼントにまつわるジンクス」

誕生日などのお祝い事に欠かせないのが**プレゼント**。 何を贈るか頭を悩ませることも多いと思いますが、プレゼントにまつわるジンクスもいろいろあるようです。 まずは、傘のプレゼント。 男性から女性への贈り物であれば「あなたを守る」という意味があり、女性から男性に贈れば「あなたを包み込む」というロマンチックな思いが込められているそうです。 また、欧米では靴は「幸せを運んでくれる幸運のアイテム」として、出産祝いにベビーシューズを贈ることが一般的だそうです。 その一方で、アジア圏では「旅立ち」「足を踏む」といったネガティブなイメージがあるため、靴をプレゼントするのはタブーなようです。 また、日本では「一緒に時を刻む」という意味を込めて恋人に「時計」を贈ることがありますが、中国では時計を意味する「鐘」の発音が、「終」の発音と同じため恋人には贈らないそうです。 所変われば品変わる、ですね。



日本や世界には、さまざまなジンクス・迷信・言い伝えがあります。 ただし、ジンクスはあくまでもジンクス! アンラッキーなジンクスが起きても科学的な根拠はありませんので、ご安心くださいね。